

efit+ for TCU Ver.1.4.5.0 アップデート概要

2017年9月
株式会社 ニコン・トリンプル

本書では、efit+ for TCU Ver.1.4.5.0 で追加、変更された機能の概要を説明します。

ソフトウェア構成表

◆efit+ for TCU Ver.1.4.5.0 の製品構成は下記の通りです。

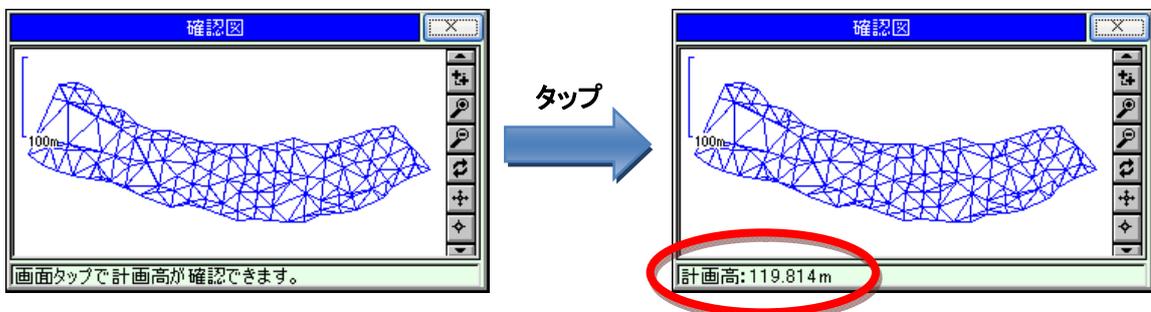
製品名	コード	備考	改良
efit+T 測量基本ソフト	B-E1-T00	基本キットに含まれます	TSモードの通信改良
efit+T 測量観測	B-E1-T50	基本キットに含まれます	面計測のSureScan対応他
efit+T 測量計算	B-E1-T51		
efit+T 線形計算	B-E1-T52		
efit+T 縦横断観測	B-E1-T53		
efit+T 平板観測	B-E1-T54		
efit+T GPS観測	B-E1-T55		
efit+T オートフォーカスOP	B-E1-T56		
efit+T 地籍観測	B-E1-T57		
efit+T Nikon通信OP	B-E1-T58		
efit+T 定点観測	B-E1-T59		
efit+T i-Construction	B-E1-T60		新規パッケージ

出来形チェック

i-Construction オプション

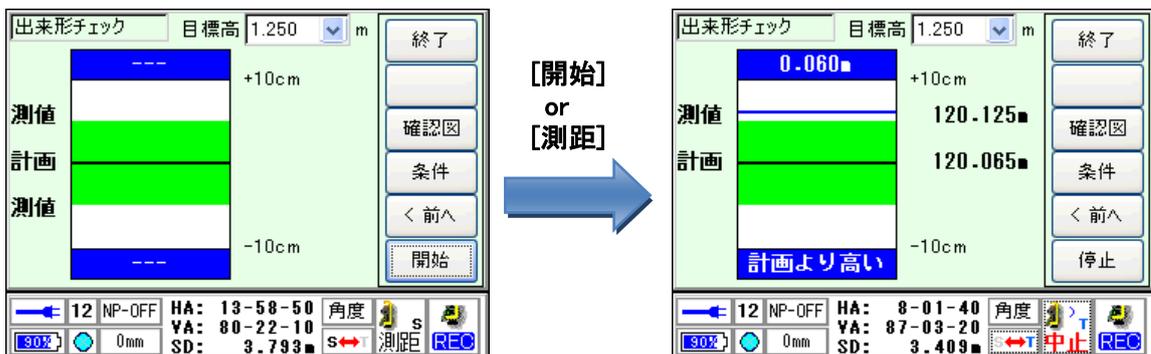
◆LandXML ファイルの読み込み

LandXML ファイルに登録されたサーフェスデータを取り込み確認図(2次元)に表示します。
画面をタップすると計画高を確認することが可能です。

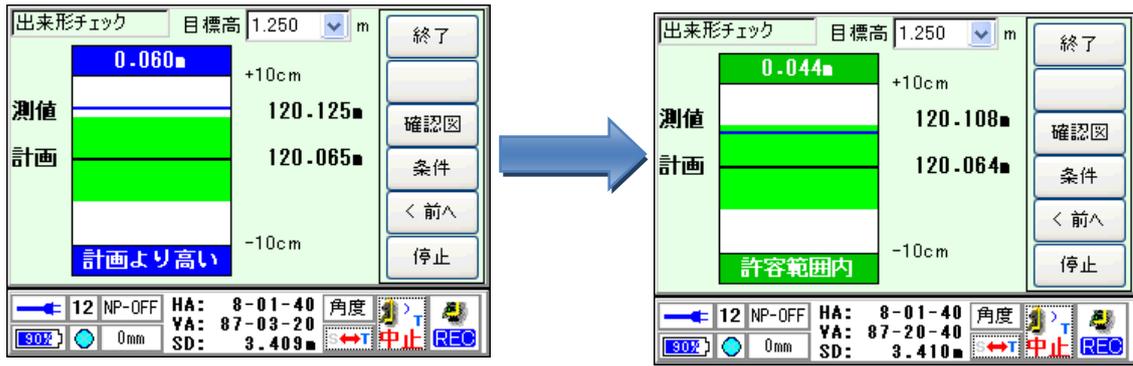


◆出来形チェック

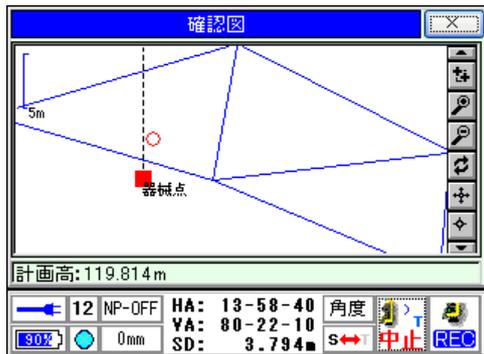
器械設置完了を出来形チェック画面を表示します。
測点を視準を[開始]もしくは[測距]ボタンを選択します。



測距が完了すると計画高、計測高、差分を表示します。
 差分が許容範囲に入れば上下の BOX が「緑」に変わります。



[確認図]ボタンを選択すると、現在位置を表示します。



■ SureScan 対応

Trimble S7

◆ 面計測

操作は、従来の面計測と同じ操作ですが、計測に SureScan 機能を使用していますので従来の数倍の速さで指定した領域を計測します。

SureScan 搭載機は現在の所、「Trimble S7」のみとなります。

以上